



犬中 連携だより

2026年夏号

病診連携の会を開催しました

「当院外科手術」のご案内と今後の連携強化に向けて

外科・副部長 館 正仁



2026年4月23日（木）当院にて第7回病診連携の会を開催致しました。25名が参加し、大変お忙しい中、5名の地域の連携医療機関の先生にご参加頂きありがとうございました。

当院理事長・竹腰の挨拶に続き、外科副部長・館 正仁より「当院外科手術のご案内と今後の連携強化に向けて」講演頂きました。その後、ご参加頂きました、先生方からご質問、ご意見を頂き有意義は情報交換、意見交換の場となりました。



当院の外科では胆石・虫垂炎・鼠径ヘルニア・痔核など一般外科の治療から、胃がん・大腸がんなどおなかのがんや乳がんの治療を専門医師が手術だけでなく薬物治療を術前・術後を通して継続して行っています。昨年度は9歳から101歳までの手術を実施しました。標準的なガイドラインを守るのはもちろんですが、年齢やいろいろな有害事象を考慮して十分にご納得いただいた上で高齢社会に対応し医療をすすめて参りたいと考えています。

難しい治療の場合は支援病院と連携を密にしています。そして治療のあとは再び当院で経過観察をさせていただきその後は地域の先生方と密な連携を一層強化していきたいと思っています。緊急手術も365日24時間対応していますのでぜひご紹介をよろしくお願いします。



台湾で開催された国際学会に今年も参加しました

2026年5月30日（土）台湾の台北市で開催された国際学会「台湾医療BSC学会国際シンポジウム2026」に参加し、医療業界の人手不足に対する対応に向けたBSCの役割というテーマにて活発な議論が行われました。

当院からは「総合犬山中央病院地域連携支援センターのBSC（第2報）」というテーマでポスターセッションで発表をし52演題中2位の評価を受けました！

今後も継続して業務の見直しを行い、日ごろの支援をより充実したものにしていきたいと考えています。



【会場の衛生福利部 台北醫院】

